

成田市農政推進協議会会議録

- 1 開催日時
平成30年3月19日（月）午後1時30分～3時30分
- 2 開催場所
成田市花崎町760番地
成田市役所本庁舎3階 第2応接室
- 3 出席者
(委員)
加瀬委員、設楽委員、武田委員、大川委員、吉田委員、荒居委員、及川委員
澤田委員、池上委員、吉岡委員、岩澤委員、伊藤委員、朝倉委員、池田委員
飯田委員、一鍬田委員
(事務局)
都祭経済部長、荻原農政課長、成毛農林畜産係長兼農政課主幹、
川瀬農業土木係長、菅井農業振興係長、須向水田営農係長
- 4 会議の公開方法等について
事務局から会議の公開等についての説明を行った。
- 7 協議報告事項
(1)平成30年度農政課主要事業について
(2)第2次成田市食育推進計画の策定について
(3)成田市農業振興地域整備計画の策定について
(4)米の生産調整について
(5)その他
- 8 議事（要旨）
司会進行（荻原課長）から会議開催にあたり農政推進協議会第5条の規定による出席者数が過半数である旨の報告により開会の宣言を行った。
岩澤会長を議長として協議報告事項に入った。
冒頭、傍聴者について報告（傍聴希望者なし）
続いて、協議報告事項（1）～（5）について事務局から報告を行った。
主な意見、質疑応答は次のとおり

(1)について
委員質疑：
質問：市として、自立した農家を育てていく施策を考えていただきたい。
回答：今後、全国の事例等も見ながら、研究していきたいと考える。
質問：GAPについては、どのように取り組んでいくのか。
回答：GAPについては、本年は2回、基本から学べる研修会を青年農業会議所を中心とした若い方々に参加いただき開催。県の農業事務所より講義をいただいた。
来年度は予算計上をし、県の補助を受けて、視察と研修を行う予定。
個人認証は難しい面もあるので、団体認証を進めていきたいと考えている。

(2)について

委員質疑：

質問：地産地消の考えを大切にしてもらいたい。

回答：情報を市より配信していくとともに、消費者側、両親が子供に正しく伝える、また、学校が子供に正しく教育するというを通じて、安心・安全な食を自分で選ぶ能力を身に着けるということを推進していきたいと考える。

質問：食育の中には、農業体験ということも含まれていると考える。

新規就農者やユーターン農業者、親にも食育について、教育が必要ではないか。

回答：効果がありそうな施策を考慮しながら、検討を進めていこうと考えている。

(3)について

委員質疑：

質問：空港関係により、農地移動の問題が表面化している。農振、農地法による許可等について、スムーズにできないだろうか。

回答：残された農地については、空港部と連携を図りながら、進めていきたいと考える。

空港関連機能拡充に伴う移転等についての農地の取り扱いについては、別のシステムの中で、十分話し合われていかないと解決できる問題ではない。

農政課だけでは、回避できる問題ではないので、総合的なところで検討を進めていかなければならないと考えている。

質問：管理が行き届いてない農地については、どのように考えるか。

回答：草刈条例という法律もあるので、所有者に連絡を取り、管理を徹底させることもある。また、市からのアクションをお願いできる案件もある。耕作放棄地については、所有者が分かっているものについては、農業委員会にて土地の意向調査ということで、所有者に書面にて、どのように利用していくかというような対応をしている。

(4)について

委員質疑：

質問：成田市農業協同組合において、輸出・販売ができないだろうか。

中国は通販が盛んであるので、そのような波に乗れないだろうか。

回答：全農を始めとして、輸出については一昨年よりも昨年の数値を比較してみると国の目標を今年あたり、クリアできるのではないか。

千葉県についても県下で農業生産の拡大・所得の増大を目標にして、プロジェクトを企画している。大きなロットで消費者と取引していくには、まだまだリスクが高い。

今後、輸出を視野に入れるとすれば、GAP等も含め、様々な問題をクリアしていかないとならないと考えている。

(5) その他

委員質疑：

意見：ここ数年、農林水産業予算が減額されてきているので、市としても予算取りを行ってほしい。

回答：平成 28 年度が一般会計予算一番多く、619 億円であった。一般会計予算に対し、農林水産業費 13 億 2000 万であり、一般会計に占める割合は 2.1%。昨年は 608 億円のうち、農林水産業費 13 億 7000 万、構成割合でいくと 2.2%。今年度の見込みは 590 億円の一般会計予算に対して、農林水産業費は 14 億 2500 万。割合は 2.4%。横ばいではあるが、若干の微増となっている。

予算獲得のために尽力していきたい。委員の皆様には、ご支援をいただきたい。

9 傍聴

(1) 傍聴者：なし

(2) 傍聴の状況

10 次回開催予定

平成 30 年 6 月 20 日で委員の任期が満了するので、その前後に開催する予定。